

ジオパークで  
地域に活力を!!

## ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館  
下仁田町大字青倉158-1  
☎70-3070 FAX67-5315  
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

### 自然史館の利用他

#### ■自然史館に新しい展示が増えました!!

##### ・宮室の逆転層 ジオラマ

ジオサイト宮室の逆転層のジオラマが自然史館の展示に登場しました。地層はふつう、古いものは下に、新しいものは上に積み重なっています。しかし、宮室の逆転層では、地層がひっくり返って、古い地層が上になっています。自然史館展示では、地層がひっくり返ってしまった理由などを解説しています。



##### ・たたら製鉄 精製品

11/14(土)に中小坂鉄山研究会と日本ジオパーク下仁田応援団で行なった昔ながらの製法で鉄を作ろうという「たたら製鉄操業イベント」で砂鉄から作った鉄を自然史館に展示しています。磁力が強く迫力ある一品で、中小坂鉄山コーナーの見どころになっています。

(写真は炉から取り出した直後の鉄です)

これらのほかにも、下仁田自然学校の方のご協力で、植物コーナーや化石のコーナーなどもますます充実してきました。

ぜひ自然史館見学にお越しください。



※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。

※2月の休館日は1日・15日です

問合せ先 産業観光課 観光振興係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

## 2月16日から登下校に合わせて、 スクールバスの運行時刻が変更になります

2月16日(火)から小中学校の登下校に合わせ、午後4時以降のスクールバス運行時間(平日)が変更になります。

各路線ともに主に午後の下り便が変更になりますので、午後4時以降に利用される一般の方は、時刻表をよくご覧の上、ご乗車いただきますようお願いいたします。

※1スクールバスは児童生徒が優先となりますのでご了承ください。

※2小中学校の児童生徒へは学校から連絡があります。

変更期間 秋冬期2月16日(火)～3月31日(木)

#### 問合せ先

○スクールバス 下仁田町役場 教育課 学校教育係 ☎82-2115

○しもにたバス 下仁田町役場 地域創生課 企画政策係 ☎64-8809

○運転管理 上信ハイヤー株式会社下仁田営業所 ☎82-2429 バス事務所 ☎82-5038

# ジオパーク応援団だより

第7号 | 2016.2.1

## 下仁田街道(下仁田道)——これもジオの一つ——

里見哲夫

1864年(元治元)、今から151年前に水戸を出立した尊皇攘夷派の天狗党と、これを阻止すべく幕府の命を受けた高崎藩兵とが、下小坂で一戦を交わしたのが下仁田戦争です。単にここで戦いがあったことのみを話題にするのではなく、その根源がどこにあったのかを知る必要があります。当時の日本はどんな状況であったかを知る事が大切ではないでしょうか。日本はまさに文明開化へ進む寸前の夜明け前の時代でした。

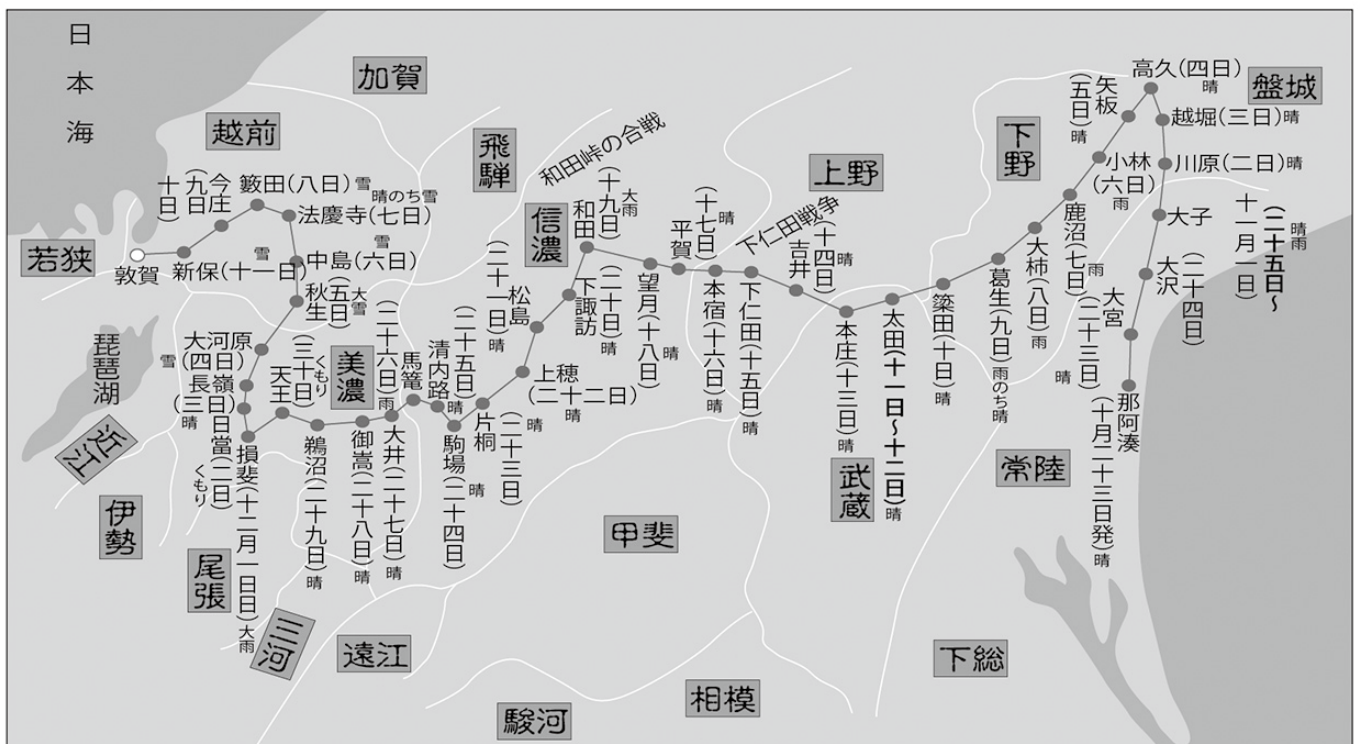
250年余続いてきた江戸幕府であります。幕末の動乱期には幕府をひっくり返すような大事件が次々と起きました。当時の水戸藩主、徳川斉昭や家臣の藤田東湖は攘夷論の中心人物でした。1855年(安政2)には安政の大地震で東湖が亡くなりました。1860年(万延元)に斉昭が病死して、将軍の世継ぎ問題、財政難、その他多くの事件が発生しています。

1854年(嘉永7)ペリーの再来航等によって、幕府はついに外国との圧力に屈して、開港に踏み切りました。以後、世の中は騒然となり、国際的、国内の政治状況等は内憂外患、こんな折り水戸藩を脱藩した天狗党が旗上げをしました。

天狗党は京都にいる徳川慶喜に自分たちの主張をお願いすべく、西上の途につきました。茨城県の太子町で隊を編成して出立したのが1864年(元治元)11月1日です。

行程は下の図の通りですが、吉井で宿営し出立したのが15日朝、920名余が下仁田に到達したのが夕刻です。その夜は下仁田に宿営しました。

天狗党行軍経路略図



## 【季節の花】梅(ウメ)

ウメは中国原産で、九州に野生があるといわれています。万葉の時代から愛されてきました。

文献上では750年頃に現れています。この頃、遣唐使などにより中国文化とともに持ち込まれたといわれていますが、現在200種以上の品種が知られています。



## ジオサイト 中小坂鉄山・山ノ神歳旦祭準備行われる!

年の瀬も押し迫る12月27日(日)ジオサイトでもある中小坂鉄山において鉄山研究会のメンバー全員による山ノ神への参道美化活動が行われました。

寒の内とはいえ、滴る汗を拭きながら積もる落ち葉を掻き分けて新年を迎える準備にいそしみました。

山頂の山ノ神では御神酒・煮しめ・お供え餅を手向け、祝詞によって穢れを祓い清め、歴史ある鉄山への畏敬の念を抱くと共に歳旦祭が滞りなく迎えられる様にと一心賭けながら下山の途に着きました。

行事を終えた後の皆で囲む料理は格別で新年度の話題で持ちきりでした。



## Geopark Magazine vol.3に応援団が紹介されます。

日本ジオパークネットワーク(JGN)では、ジオパーク活動を全国に普及するため、各ジオパークでどんな取り組みを行なっているか、どんな魅力があるかを紹介した雑誌を毎年発行しています。

2016年4月発行予定のVol.3には日本ジオパーク下仁田応援団の黒澤雅史さん(青倉地区)が下仁田ジオパークのガイド代表で紹介されます。

発行になりましたら、図書室や学校、町の施設で閲覧できますので、ぜひご覧ください。

